

●キャリア支援活動の状況と特色

低学年からの親身な指導、豊富な就職関連学内イベントや蓄積された情報も活かした手厚い支援が特色である。以下、具体的に列挙する。

まず、1年生から、会社や薬局・病院訪問、SPI体験受験・就活基礎講座などがあり、就職への意識を勉学への熱意に繋げるよう促している。また、インターンシップ(企業体験)の募集を含む就職関連情報はGoogleClassRoomやポータルサイトを通じてメールで全学年に随時配信している。また、1年生から、教授らが1-2人の学生に対して1教員、チューター教員として全員につく。週に一度のチューター時間には就職を含む広い悩み・多様な困りごとを相談できる体制をとっている。

中四国の国立大学附属病院薬剤部出身の複数の教員、企業・薬局経営の経験者の教員、製薬企業経験者らからも、多角的な情報を得られる。

5-6年生には、就職関連イベントが多くある。月に5-6回になることもある学部内企業説明会(1:1で採用担当者と話せる)をはじめ、県内病院採用情報など、都度多角的にかつ詳細に情報提供している。専任の就職支援職員や就職委員である教員が、蓄積された資料に基づくアドバイス、書類

の添削や面接練習(外部プロ指導者)など、個別にも手厚く対応する。4年次からは学年ごとのGoogleClassRoomを設定し、就職関連情報のきめ細やかな告知をおこなう。香川薬学部では4年次で、本人の希望(4年生内で相談・調整)の研究室(講座)に配属となる。配属後は講座の教員がチューターとなり、1:1-3での研究・学習(・生活)指導をしながら長所を見つけ、伸ばし、適性にあった就職につながるようアドバイスもする。

●最近の傾向

オンラインによる説明会や面接を実施する企業や病院は、コロナ関係で増えたまま維持、もしくは拡大。大学としてもPCや面接に相応しい場所の貸与など環境を整えている。2023年度就職は就職指導担当者が変わり、対策講座やGoogleClassroomを通じた指導も増加させたためか、ほとんどの学生はそれぞれの志望にあった内定先を手際よく決め、国家試験の高合格率(90.3%)につなげることができたようだ。2023年度はドラッグストアの採用数が増加傾向。学生側は自宅から近い病院志向が増加傾向。

●キャリア支援体制・実績

薬学部生対象の求人件数/13899件
薬学部を担当するキャリアスタッフ/4名
2023年3月 薬学科卒業生数/41名、
就職希望者数/31名、
就職者数/31名

就職実績

●薬学科(6年制) 就職先

【薬局・ドラッグストア】

アインファーマシーズ
クオール
総合メディカル
クラフト(さくら薬局グループ)
ホリスティック
サンカム
安田薬局
イオンリテール
ウエルシア薬局
ザグザグ
レデイ薬局

【その他】

メディファーマ

【公務員・教育機関・研

究機関など】

香川県庁

【病院】

国立 琉球大学病院
香川県 さぬき市民病院
三豊総合病院企業団 三豊
総合病院 2名
労働者健康安全機構 香川
労災病院
香川医療生活協同組合 高
松平和病院
国家公務員共済組合連合会
高松病院
社団 赤心会 赤沢病院
瑞風会 森澤病院
白井会 田野病院